



## 「US Open Tennis」

北陸銀行 国際部  
ニューヨーク駐在員事務所  
内間 洋子

### 1. はじめに

ニューヨークでは、8月から9月にかけて、夏の終わりを飾る一大スポーツイベント、「US Open Tennis」が開催されました。今年で137回目となった今大会は、賞金総額約37億円、総観客動員数70万人と文字どおり世界一のテニスイベントでした。

### 2. US Open Tennis

本大会会場は、マンハッタンから急行電車で25分程のクイーンズ地区にあり、ニューヨークメッツの野球場に隣接しており、同じ日の昼と夜で野球とテニスの両方の試合を楽しむことも出来ます。

テニス会場は、3つのスタジアムと22のテニスコートで構成されています。今年は、22,600人を収容できるメインスタジアム「アーサー・アッシュ・メモリアル・スタジアム（黒人として初めてグランドスラムを制したアメリカ人テニスプレーヤー、アッシュ氏を記念し命名）」に、開閉式の屋根が完成してから20年ということで、子供のプレーヤーを対象にした様々なイベントが開催されました。



観客が試合と同様に毎年楽しみにしているのが、フードビレッジのレストランです。今年も2週間のトーナメント期間中、有名シェフ10人を含む、40余りのレストランやバーが、世界各国の料理（アメリカンはもちろんのこと、インド、韓国、日本、フレンチ、イタリアン、メキシカン、ベトナム等）US Open Tennisのための特別メニューを組み提供しました。ベジタリアンの観客へは、豆腐を使った料理も用意されました。シーフードは特に人気で、会期中、エビ、カキ、カニ、ロブスターなどが7.5トンも消費されたそうです。

大会のメインスポンサーの一社でもあるグレイグースは、10年前より自社のウォッカをベースにした特別カクテルを提供しており、今年は、歴代優勝者の名前がプリントされたグラスに、丸くくり抜いた凍ったハニーデューメロンが添えられていました。（右写真）

毎年会期中は7,000人の臨時雇用を生み、市内のホテルの16%はテニス観戦の宿泊客で占め、NYシティーへの経済効果は800億円にのぼるそうです。

今回は、大阪なおみ選手、奈良くるみ選手など日本人女子プレーヤーの活躍も、こちらのメディアに大きく取り上げられました。



以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp